

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（営業担当）	・冬支度や、冬本番へと季節の変わり目に入るため、婦人の高級カシミアニットやコートの動きが見られる。
		コンビニ（店舗管理）	・政局の大きな動きは近未来に対しての期待感が増し、一時的なものではあるが閉塞感は薄らぐ。
		衣料品専門店（総括）	・年末に向けて必要なものが増えてくる。必然的に消費は増えると考えられる。ただし、消費は増えても今よりは良くなるだけで、根本的な解決にはならない。
		通信会社（社員）	・新型の携帯電話よってスマートフォン需要が喚起されると思われる。
		通信会社（営業担当）	・新商品が年末に控えており、年末商戦も絡んでくる。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の影響がある。
	住宅販売会社（従業員）	・展示場来場者の変化が目立ち始めてきた。消費税アップ前の駆け込み需要が増えるものと期待される。	
	住宅販売会社（従業員）	・消費税アップ前に建築したいという客が確実に増えている。慎重な客は多く時間がかかるが契約数アップは確実に見込める。いかに早く契約するかで、契約量アップの割合が変わると思われる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・暖冬の予想が出ており、コート類が苦戦しそうだ。
		商店街（代表者）	・これといった流行もなく、一部の携帯端末以外に目新しい商品も見当たらない。購買意欲をそそるような商品がない。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・客数は落ちているが、客単価は少しずつ上がっているようにも思う。どうなるかは、いろいろな要素もあるためまだ分からない。
		一般小売店〔事務用品〕（役員）	・元々経済状況は良くない時期だと思う。中国や韓国との領土の問題など、いろいろな意味で大きな会社に影響が出てくると思うのが3か月後である。見込みの件数が少ない今年度だが、そうした要因で受注の時期がずれたりするような気もするので、心配な時期ではある。年末なので、比較的物が動く時期なので、なおさらそういう心配をしている。
		百貨店（売場主任）	・消費マインドが極端に上がることは想定しづらいが、ターゲット顧客の来店促進が安定した動きを見せている。
百貨店（営業担当）		・生活にとって使用頻度が高いのか低いのか、価格に対して機能などの付加価値が低いのか高いのか、こういうところに消費判断自体がきているような気がする。そういった意味では、これからの季節、コートなども含めて冬物のファッションなどはちょっと先行きは暗い。どこかで買物ストレスを発散するというのでは、高額な絵画・美術、宝飾が不思議なことに売れている。	
百貨店（営業担当）		・消費税の増税、電気料金の高騰などを踏まえると、客の購買意欲はかなり抑えられてしまう。今以上に節約に入ってしまうと思われる。	
百貨店（売場担当）	・気温の変化と共に、秋物、冬物の衣料品の動きが良くなると思うが、客単価が下がる傾向は続いている。ウォーム関係商品も横ばいと思われる。景気が良くなる見通しはない。		
スーパー（店長）	・今は同業他社の閉店があるが、今後その場所にまた違う企業が入るといった事もあるため、そこでプラスマイナスはゼロということ考えている。		
スーパー（店長）	・客単価情報からも言えるが、気温の温暖化が続く限り、その時期の商品が売れるべき時に売れないという、タイミングの悪い傾向が続く。この状況に変化がなければ、現状は変わらない。		
スーパー（総務担当）	・全体としては緩やかな回復基調と思われるが、中国、韓国との領土問題も含んだ政治の安定が無い状況は不安をさそ		
コンビニ（経営者）	・現在の状況が劇的に変わるという要素は、良くも悪くも見出されていない。ちょうど契約更新の時期を迎えている2号店のクローズも視野に入れている。		
コンビニ（店長）	・近隣で行っていた工事が前年までに完了し、その後新たな工事が無いため、前年同月比だけで見ると、工事関係者の需要が少なくなった分、確実に下がって行くものと思われる。ただ、10月においては、前月に工事が終了するといった要因はないため、これ以上悪くなるということは考えにくい。また、周囲の企業の動きが非常に良くなり、一見客や営業マンあるいは工事関係者の利用が前月から減少しており、増える要因が見当たらないため、変わらないと判断した。		

衣料品専門店（経営者）	・現状から急に売上が良くなるという事は想定し難く、今のようない進一退が続いていくものと思われる。
衣料品専門店（経営者）	・先々明るくなるとは思えない。ただ積極性で打開していくしかない。土木や建築、設計関係の友人達によると、企業の一部、あるいは単独で、東北に出稼ぎに出ている人が増えているそうである。これから3年は出稼ぎブームになるという説がある。
家電量販店（店長）	・これといった起爆剤が見当たらない。
家電量販店（店長）	・必要な商品しか客は購入意欲がない。スマートフォンなど販売数量を大きく上げている商品群はあるが、カバーしきれない。
家電量販店（管理本部）	・新しい商品やサービスの展開が当分見込めない。
乗用車販売店（経営者）	・補助金や減税に加えて、メーカーと販売会社が連携した販売施策などで販売を押し上げた分、反動減をいかに抑えるかがこれからの課題である。
乗用車販売店（経営者）	・エコカー補助金での駆け込み需要が予測より多くなかったことから、反動減はあまり無いと思う。11月からの新型車発売なども控えており、あまり変わらない状況が続くと予測される。
乗用車販売店（役員）	・尖閣諸島の問題で中国との関係がギクシャクしており、政治の方も停滞したままなので景気の浮揚には甚だマイナスである。
自動車備品販売店（従業員）	・冬季商品の期待はあるが、新車需要に伴う用品販売では各ディーラーが契約時に力を入れており例年を下回る予測をしている。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・今後2～3か月で、客の購買意欲が変わるとは言えないため、このまま変わらないと思われる。
その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	・客の買物動向は必要な物だけを買う傾向があり、店内の滞在時間が短くなっている。低価格志向が続いており、化粧品など高額商品の動きは低調である。
高級レストラン（スタッフ）	・好材料はないが、昼も夜も徐々に単価が上がっているため売上は安定している。最近は台風などの災害の少ない地域ということが、旅先の指定につながるようである。
一般レストラン（店長）	・予約の入りが悪い。
一般レストラン（スタッフ）	・日中関係の悪化で、安いより安全な国産食材などを購入するとも聞くが、一部の企業を除けば一般消費者にとってはほとんど影響がない。台湾や中国、韓国からの旅行者は減少するが、修学旅行や家族旅行などが国内に変更になることで、秋の行楽シーズンもさほど影響はないと思う。
スナック（経営者）	・国際的な様子により変化があり、明るい将来が見えない現状においては、皆引き締めており、先々もこの状態が続くのではないだろうか。
観光型旅館（経営者）	・東北支援や東京スカイツリーなどの影響か、秋の旅行シーズンに向けても集客に苦戦している。
観光型旅館（スタッフ）	・9、10月は、85%の予約保有となっている。東北支援、東京スカイツリー、九州新幹線の影響が出ていると考えられる。
都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は、全体的に低調に推移しており苦戦を予想する。
都市型ホテル（スタッフ）	・景気の変動に関する積極的な理由が無く、2～3か月先の宿泊やレストランの予約状況についても、例年の範囲内に留まっている。
タクシー運転手	・秋の行楽シーズンでもマイカーやレンタカーなどで、タクシー利用はあまり期待できない。また衆議院が解散し、総選挙が実施されれば、夜の街も暇になってくるのではないかと。
通信会社（営業担当）	・スマートフォン需要は確実に増加の一途をたどっているが、新商品が発売され顧客の反応をみても変化を感じられない。
テーマパーク（職員）	・予約状況を見ると、依然として団体客を中心に予約の動きが鈍くなっており、現在の状況が続くものと思われる。
競輪場（職員）	・ここ数か月の売上平均、客数平均共に約1%の増減しかないため、今後も同様の動きになると思われる。
美容室（経営者）	・客の消費マインドが上向きになる兆候が感じられない。
住宅販売会社（従業員）	・企業の収益が、個人の所得に結びついてはならず、購買意欲が持続するとは考えにくい。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要が期待できないため、変わらないと思う。
やや悪くなる	一般小売店〔書籍〕（従業員） ・政局の混迷が今の市場の動きをものごとく、良くなる要素はない。

		スーパー（総務担当）	・食品部門において、各社とも価格競争（EDLP = Everyday Low Price）を始めているため、今後、一層客単価が低下しそうである。さらなるデフレスパイラル現象が発生する恐れがある。
		コンビニ（経営者）	・今、売上の中でも前年同月実績をクリアしているのが、弁当類やデザート類といった特に力を入れている部分だけである。それ以外の商品に関してはずっと下回っている状態が続いており、この部分が上がってくることは、今のところは考えられない。また、たばこの売上もここ1年は前年同月実績を下回っている状態が続いている。
		住関連専門店（店長）	・まだ落ちていきそうである。消費税増税が近づいてきたら変わってくると思われる。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・今までコンスタントに、どんな時でも売れていた商品が、回転が悪くなったというか、売れなくなったというか、そういうことがあるため、この先大変不安である。いつ何時、商売をやめなければならないかというような、酷い目にあう可能性もさらに高まってきたように思える。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・前年の秋に実施した追加投資や施設店舗改装効果が、一巡することが非常に大きい要因として予測される。
		タクシー運転手	・必要以上のものにはお金を使わなくなったようで、また消費態度が戻ったような気がする。
		通信会社（職員）	・より価格競争が激しくなることが予想され、業績悪化につながる心が心配される。
		通信会社（役員）	・大手通信業者が提供する高速インターネットサービスの料金値下げ報道があり、今後の当社の新規獲得件数に確実に影響が出ると見ている。
		その他レジャー施設（職員）	・今後、総会員数としてプラスになる入会を見込む事はなかなか難しい。
	悪くなる	旅行代理店（従業員）	・相変わらず個人客の動きが弱く、その上、中国旅行の団体の取消や延期などが業績を直撃している。個人客の動きだけでは、この穴埋めはできない。
企業 動向 関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	-	-
		通信業（営業担当）	・消費税増税による駆け込み需的意識が出ているように思えるが、対中国の経済動向も不安定なため、今設備投資をすべきかを危ぶむことで、契約に至らないと感じている。
		金融業（融資担当）	・消費税率引上げを逆手にとり、大型耐久消費財の販売で、現在、業者が仕掛けているところに、ようやく消費者側が反応し始めるということが予想される。こうしたことから、将来の消費税率引上げ後の、消費を先取りする格好の底上げが期待されるものと思う。
	変わらない	不動産業（経営者）	・法人の客に聞いたり、同業者にも聞いたりしたのだが、この後2～3か月先には、いろいろと問い合わせが来たり、動きが出るというような話であったため、やや良くなる。
		食料品製造業（役員）	・同業者の状況が前年同月比で物量の低下が続いている。商品構成が異なる当社としては現状の販売品目の強化を図り、物量的に変化の無い状況、あるいは遜増を今後も維持していく営業展開を進めている。
		繊維工業（経営者）	・生地を輸出し縫製を中国で行い最終製品として輸入するビジネスモデルがあるが、通関での遅延状況や円高の状況によっては、大きく変化すると思っている。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・今のところいい話も、悪い話もどちらも無い状況なので、3か月先にはまだ変わらない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・新興国の景気低迷により下支えとなっていた輸出にまで減速感がでてきている。
		精密機械器具製造業（経営者）	・業界的には秋の新商品のシーズンであり、全体としては生産量が増えてくる時期であるが、今年の産地の状況は、各社とも数量を絞っているせいか、さほどでも無いようである。
		司法書士	・何代か続いている会社の解散、清算が多い。
やや悪くなる	繊維工業（経営者）	・内外の市況悪化に加え、中国との領土問題などでどのような影響がでるのか不安があり、先行きに対して期待ができない。	
	一般機械器具製造業（総務担当）	・中国、韓国、台湾と日本を取巻く国々との領土問題などで、日本製品の輸出が落ち込んでくると考えられる。平和な世界であってこそ経済活動が自由に行なえるのに、政治は逆行している。企業存亡の危機とも思える。	
	電気機械器具製造業（経理担当）	・スマートフォン関係が市場に行き届くにつれて、非常に景気が悪くなってくると考えている。客の中には、事業所の統廃合という動きもあり、今後新しいものが出てこない限りは、縮小傾向になると考えている。	

		建設業（総務担当）	・全体的には、決して明るい方向には向かっていない。しかし、一部で見積依頼案件が増加傾向にあったり、設備投資への取り組みを検討する企業の動きが見られたりするなど回復への兆しが見られる。
		輸送業（配車担当）	・中国との関係が今後2～3か月以内に急速に改善するとは考えられない。
		金融業（融資担当）	・中国の反日デモ、その後の政策的な影響が懸念される。明確に数字には現われていないが、徐々に表れてくるものと思われる。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・流通関連以外のチラシ広告出稿量に落ち込み傾向が見られる。
		税理士（所長）	・やはり、中国の問題がある。当初予定していた設備投資の計画が、突然方向修正され生産活動が委縮する。また、中小企業で中国などに生産ライン設備を輸出している関与先をはじめ、そのほかの製造業でも多いのだが、生産設備を作る際に、さらにボルトやネジや鉄板といった基礎部品が中国から入っている所が結構が多く、中国からの部品の輸入に不安感が出てきている。そうすると、生産活動自体がどうしてもいたるところでブレーキがかかってしまう。この先の見通しが非常に心配だということである。
	悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の、受注の入り具合を見て悪くなる方向にあると思った。
		建設業（経営者）	・受注している業者は年末に向けて出来高が上がり資金需要が増し、一方、受注できない業者はギリ貧の中で固定費をまかなわなければならない。しかし、銀行は建設業者には貸さない姿勢をより強め、経営破たんにも陥る建設業者が増えると予想する。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-
(北陸)	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告の件数がやや増えており、堅調に伸びていると思われる。
		人材派遣会社（役員）	・スキルのある人材が少なく、手配が難しい。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は依然として増加傾向で推移しているが、パートや臨時的な求人が多い。また、従業員100人以上の規模の企業からの求人は減少している。
		職業安定所（職員）	・今後の景況や受注などの先行き不安により、求人を見合わせる声がある一方で、欠員求人や技術継承という観点での長い目でみた求人も見受けられ、総じて状況に変化はないものと思われる。
		職業安定所（職員）	・最近では新規求人数が増加または横ばいで、新規求職者が減少傾向にあり変わらないが、製造業大手で工場再編による300人規模の離職者がこの先発生するため、現状維持か多少悪くなると思われる。
		民間職業紹介機関（経営者）	・改正派遣法が施行されたが、規制がやや強まり、一層派遣離れが進むことに危惧を感じる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・日中や日韓の関係悪化が、日本経済にマイナス影響を及ぼしかねない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・今月、急に求人数が伸びたが、伸びた要因がはっきりしておらず、このまま続くと思えない。
	悪くなる	-	-